

(財)自治体国際化協会
平成19年9月14日

平成19年度 自治体国際協力専門家派遣事業の第一次派遣
(中国・甘肅省白銀市)について

(財)自治体国際化協会では、自治体が海外の自治体等と行う国際協力事業に対して各種支援を行っております。

この度、国内の自治体職員が有する技術や知識を国際協力の分野で有効に活用し、海外の現地・地域における技術力の向上や人材の育成に寄与し、国内外の自治体の友好協力関係の促進を図る『自治体国際協力専門家派遣事業』について、平成19年度事業として、中国自治体の要請に基づき、下記のとおり、中国の甘肅省白銀市に、わが国の自治体職員1名を専門家として派遣いたします。

なお、今回の派遣は、平成19年度の第一陣であり、現在、中国各自治体から農業技術、都市計画、文化財保護等の各分野において要請があり、国内の自治体との調整が済み次第、順次派遣をしてまいります。

記

〈第一次派遣の内容〉

派遣先 中華人民共和国甘肅省 白銀(パイイン)市

派遣者 福岡県 土木部 直方土木事務所 田尻 英樹氏

派遣背景 甘肅省白銀市は、地理的条件から水資源が乏しいため、都市の雨水利用が差し迫った課題となっており、わが国の有する先進的な雨水利用技術を指導する。

派遣期間 平成19年9月22日(土)～9月29日(土) 8日間

連絡先

(財)自治体国際化協会
支援協力部国際協力課
課長：藤井 主査：半澤
電話：03-3591-5485

1. 派遣先場所



白銀市のデータ

人口：1,746,800 人

面積：21,200 km²

2. 派遣先機関

中国甘肅省白銀市水電調査測量設計院

甘肅省白銀市水電調査測量設計院は、水利局に属し、4つの科・室が設けられており、主な業務は、白銀市全域における水利事業（引水、灌漑、水害対策、河川管理）等に係る調査・測量・設計である。

(参考2)

自治体国際協力専門家派遣事業について

1. 事業目的

国内の自治体関係者が有する技術や知識を国際協力の分野で有効に活用し、海外の現地における技術力の向上や人材の育成に寄与するとともに、国内の自治体と海外の自治体等との友好協力関係を促進するため、国際協力に関するノウハウを有する自治体職員（退職者も含む）を登録している「国際協力人材バンク」等から選考し、海外の地方自治体等の要請に基づいて、自治体国際協力専門家として派遣する。
(平成10年度から実施)

2. 事業内容

(1) 海外の地方自治体等の要請に基づいて、自治体国際協力専門家として派遣する。

派遣分野：農業、林業、環境、土木、都市計画、医療、教育など32分野

派遣者：国際協力人材バンクに登録している自治体職員及び退職した職員

派遣先：当面、中国、東南アジアを対象

派遣期間：原則、3か月以内（概ね10日間から1か月程度）

(2) 派遣実績

平成10年度：中国3名（農業、環境保全）、平成11年度：中国6名（農業）

平成12年度：中国6名（林業、農業）、ベトナム1名（福祉）、カボジア3名（教育）

平成13年度：ラオス5名（教育、法律）

平成14年度：中国1名（環境）、インドネシア1名（法律）、ミャンマー1名（上下水道）、
ラオス1名（法律）

平成15年度：ラオス2名（教育）

平成17年度：中国2名（農業、環境）、カボジア1名（窯業）

平成18年度：中国16名（農業、林業、畜産、環境、交通計画、都市計画）、
カボジア1名（窯業）

(3) 平成19年度派遣予定数 8件

3. 自治体国際協力人材バンクについて

(1) 内容

自治体職員（OB含む）で、国際協力についてのノウハウと熱意を有している者をデータベースとして登録し、当協会の「自治体国際協力専門家派遣事業」での活用や自治体を実施する各種セミナーなどでの活用を図るため、平成9年度に設置

(2) 登録状況

登録者数：1,350名（平成19年4月現在）

登録分野：農業166名、教育124名、環境保全98名、保健衛生83名、林業79名 等